

## 令和4年度 第2回 東京都北区在宅療養推進会議 要点記録

開催日時 令和5年3月23日 午後7時～

開催場所 Web開催

### 【議題及び報告事項】

#### 各検討部会の取り組みについて

##### （1）新型コロナウイルス感染症生活支援体制部会

- ・在宅療養者の自宅療養支援情報伝達マニュアルの更新について【資料1】
- ・新型コロナウイルス感染症在宅陽性者介護・医療連携共通シート（案）について【資料2】

### 【事務局】

・生活支援体制部会では情報伝達マニュアルの更新作業、在宅サービス事業者間で利用者が陽性になった場合にすばやく情報共有をすることを目的とした「新型コロナウイルス感染症在宅陽性者介護・医療連携共通シート」を作成しました。

### 【主なご意見】

情報伝達マニュアルの更新、新しく作成した連携シートについてはしっかりと関係者に共有をしていただきたい。

##### （2）在宅療養資源検討部会

- ・令和4年度医療社会資源調査 調査結果について【資料3】
- ・在宅療養あんしんハンドブック（事業者用・区民向け）について【資料4】

### 【事務局】

- ・3年に1度、医療社会資源調査を実施している。今年度は調査を実施する年度。検討部会にて調査項目を検討し、調査を実施した。調査結果としては、759件中624件の回答があった。回収率は82.2%だった。これは前回（令和元年度）と比較して、調査対象件数が25件増、回答が95件増、回収率が10%増だった。

### 【主なご意見】

- ・調査結果はWebでも閲覧できるのか  
⇒情報検索システムを構築している。Webで検索、閲覧できるようになる。
- ・前回調査と比べて診療所は37増えていて、訪問看護ステーションは8減っている。

この理由がわかるか。

⇒比べているのが3年前になるので、年月を考えると診療所は閉院より開業するほうが多いので、妥当ではないかと思う。訪問看護ステーションについては、コロナの影響もあり、減っている印象がある。

・事業者用の配布先はどこか

⇒調査にご協力いただいた事業所（回答があった事業所）、高齢者あんしんセンターなど  
⇒もっと広く周知していただきたい。

⇒調査を依頼した事業所（区内の医療機関等）に配布することを検討する。

### **（3）令和4年度在宅療養推進事業の報告について（資料5）**

#### **【事務局】**

・資料をもとに実績を説明。

#### **【主なご意見】**

- ・顔の見える連携会議について、令和元年度以来、久しぶりに対面で実施ができた。参加者の声を聞いて、グループワーク等を通じて対話の力を実感した。
- ・コロナ禍の中色々と工夫して事業を実施してきた。中でもオンライン化は3年間で経験を積んできた。対面の良さを追求しながらもオンラインも引き続き取り入れられるとよい。

### **（4）令和5年度の各検討部会の設置について（資料6）**

#### **【事務局】**

・令和5年度について、まず事務局としてはインセンティブ交付金の中で事業の評価が必要になってくるため、事業評価部会を設置したい。

#### **【主なご意見】**

- ・事業評価部会については、了承。
- ・介護現場ではハラスメントが問題になっている。ハラスメントが現場で実際にどのくらいおこっているのか調査など必要と考えている。ハラスメント部会の設置を提案したい。
- ・在宅療養について区民が我が事のように意識できているかというところに課題を感じる。区民啓発に関する部会の設置はどうか。
- ・新型コロナウイルスが5類移行になる方向だが、5類移行後も介護現場は感染症対策が続く。引き続き生活支援体制部会で取り組みをしたい。

#### **【結果】**

・事業評価部会、（仮称）ハラスメント対策部会、生活支援体制部会を設置する。